

## 新潟大学 倫理審査委員会 オプトアウト書式

①研究課題名	小中学校の新型コロナウイルス等感染症を防ぐ為に環境・行動特性から捉える建築計画研究（行動観察・環境測定調査）
②対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	2023～2025 年度にかけて現地調査（行動観察調査、環境測定調査）を行った学校において、調査対象の教室を利用した児童・生徒
③概要	<p>本調査は、COVID-19 等が流行っている時期に感染症を防ぐことができる空間・建物・管理の方法を提案するために行動の調査（行動観察調査）と温度・湿度・二酸化炭素の濃度の調査（環境測定調査）、を行うものです。本研究では、教室内などの使われ方（行動）、室内環境の変化（環境測定の結果）の実態を捉えることは重要です。その関係は、将来建てられる新しい学校の空間のかたち、使い方、設備を提案するために用いることができます。</p>
④申請番号	2023-0104
⑤研究の目的・意義	<p>本研究では、新型コロナウイルス等の感染を防ぎ質の高い学習を継続するための学校計画を目指します。暖冷房で課題の多い積雪寒冷地の小中学校（小中一貫教育校含む）を対象として、現地調査から環境測定と児童・生徒の行動観察調査を行い、教室・廊下・校務センター・図書室・保健室等の場所毎に環境特性（換気回数・換気量・風速・CO2濃度・室温変化等）、学習時と休み時間での児童・生徒の行動特性（学習形態・身体間距離・グループ規模・時間等）を捉えます。これらの結果より、新型コロナウイルス等の流行期に感染症を防ぐことができる安全な学校空間を計画提案することを目的としています。</p>
⑥研究期間	倫理審査委員会承認日から 2028 年 3 月 31 日
⑦情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	<p>教室内などの行動の把握のために、児童・生徒の行動データ作成します。基本的に手書きで記録しますが、調査補助として写真、動画による教室内の様子を記録します。これらより、集団の大きさ 集団と集団の距離、教室内での分散密度、集団の中での行動を個人情報が出ないようにイラスト化して分析を行います。これらのデータは、共同研究期間のみで共有して分析に用います。研究の成果は、学会や専門誌などの発表に使用される場合がありますが、児童・生徒の顔、名前など個人が特定できるような情報が公表されることはありません。</p>
⑧利用または提供する情報の項目	児童・生徒の行動が記録された画像・動画データ

<p>⑨利用する者の範囲</p>	<p>新潟大学および以下の共同研究機関等で利用いたします。</p> <p>新潟大学 工学部工学科 建築学プログラム 准教授 棒田 恵</p> <p>新潟大学 名誉教授、自然科学系(工学)フェロー 西村 伸也</p> <p>札幌市立大学 デザイン学部 教授 齊藤 雅也</p> <p>新潟大学 自然科学研究科 博士後期課程3年 Wu Yanhan</p> <p>新潟大学 自然科学研究科 博士前期課程2年 XU Qian</p> <p>新潟大学 自然科学研究科 博士前期課程1年 石川 裕史</p>
<p>⑩試料・情報の管理について責任を有する者</p>	<p>新潟大学 工学部工学科 建築学プログラム 棒田 恵</p>
<p>⑪お問い合わせ先</p>	<p>本研究に対する同意の拒否や研究に関するご質問等ございましたら下記にご連絡をお願いします。</p> <p>所属：新潟大学 工学部工学科 建築学プログラム</p> <p>氏名：棒田恵</p> <p>Tel：+81 (0)25 262 7289</p> <p>E-mail：s.boda@eng.niigata-u.ac.jp</p>